

2011日本青少年訪中代表団第1陣 文化分団の派遣実施要領

1. 代表団派遣時期、団員の構成等

- 派遣時期:平成23年10月12日(水)～10月18日(火)
- 団員構成:文化分団は、映像・アニメーション関連、芸能界、華道界の青年等約35名((財)日中友好会館事務局含む)で構成されます。
- 分団長は外務省、(財)日中友好会館が協議の上決定します。
- 実施団体:(財)日中友好会館
中国側受入団体:中華全国青年連合会

※本事業は、日中青少年交流事業、21世紀東アジア青少年大交流計画の一環で、「2011日本青少年訪中代表団第1陣」は500名の代表団となる予定です。文化分団以外は、ポップカルチャー、経済、メディア、教育関係者、地方交流等各分野の青年による分団で構成される予定です。

2. 代表団員の選抜方法

- 各団体から(財)日中友好会館に被推薦者を通知。
- 代表団員の選抜要件:
 - ①原則として2011年10月12日現在満20歳以上40歳以下で、日本国籍を有すること(中国側の要望によるもの)。
 - ②中国渡航経験がないことが望ましい。過去にJENESYS事業で訪中した経験のない方を優先します。
 - ③原則として事前説明会に出席できること。
 - ④訪中後にアンケート、感想文を期日までに作成できること。
 - ⑤日中の交流に尽力する意欲を有する方。

3. 日程及び内容

- 6泊7日で、訪問地は北京ほか2都市を予定しています。
- 活動内容は外務省及び(財)日中友好会館が中国側と相談の上、決定します。
「文化分団」については、
 - ※中華全国青年連合会歓迎宴出席、中国伝統文化の視察・体験、中国の青年との懇談、その他中国の政治、経済、歴史、文化等関連施設の視察等を予定しています。
 - ※出発、帰国空港は成田空港を予定しています。

4. 経費負担について

- 参加者にかかる以下の経費については、中国側が負担します。
 - ①中国往復の航空運賃(空港使用料、航空保険料、燃油サーチャージを含む)
 - ②中国における滞在費(交通費、食費、宿泊費(原則2人1部屋)、視察にかかる入場料の

類、ただし、宿泊費は室料と税金、サービス料のみで、室内の飲み物や電話料金等は自己負担になります。)

●以下の経費については、(財)日中友好会館で負担します。

①中国訪問期間中、訪問する関係機関へのお礼として準備する記念品代

②事前説明会のための会場借料

③(財)日中友好会館が作成する研修報告書(感想文集)作成費

④関係書類等の郵送及び代表団参加者との諸連絡にかかる経費

⑤中国訪問期間中の参加者の保険料(付保内容は以下の通り)

傷害死亡 5,000 万円、傷害後遺障害 5,000 万円、疾病死亡 200 万円、賠償責任 3,000 万円、携行品 10 万円、傷害治療 1,000 万円、疾病治療 1,000 万円、救援者費用 300 万円

●以下の経費については、中国側及び(財)日中友好会館において負担できません(※参加者の自己負担となります。)

①中国への出発空港まで利用する日本国内での交通費

②中国からの帰着空港より利用する日本国内での交通費

③中国への出発日前日及び帰国日に日本国内で宿泊が必要な場合の経費

④事前説明会出席のための交通費

⑤日本国内での食費(弁当等軽食も含む)

⑥出張手当の類

5. 事前説明会について

●本件事業の趣旨の説明、注意事項の伝達、渡航に関する準備等について、事前説明会を実施します。また、事前説明会の中で、あわせて日中関係セミナーを行います。

●事前説明会は、(財)日中友好会館の主催とし、10月11日(火)午後にて実施予定です。詳細が決まり次第、参加者に(財)日中友好会館からご連絡します。

●今次訪中団に参加する方は原則、参加をお願いします。

●会場の手配及び当日の司会は、(財)日中友好会館が行います。

6. 事後の提出物について

●帰国後、参加者はアンケートと感想文を(財)日中友好会館に提出いただきます。感想文については、各団体が全員分をとりまとめの上、(財)日中友好会館に提出いただきます。

●「アンケート書式」は(財)日中友好会館より参加者に配布します。

●「感想文」は一人あたり800字程度です。

●「感想文」、写真については、外務省及び(財)日中友好会館により事業広報の一環として使用する可能性がありますので、予めご了承ください。